

●ガバナー 今井 高志 ● 会長 西村 幸也 ● 幹事 西尾 和樹 ● コミュニケーション委員長 熊谷 道雄

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

 Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

第 2099 回 例会 記録

《社会奉仕委員会担当例会》

2019 年 3 月 28 日 (木)

点鐘 12：30

レポート No. 1531

四つの反省

- 1) 真実だったか どうか
- 2) みんなに公平だったか
- 3) 好意と友情を深めたか
- 4) みんなのためになったか どうか



清川職業奉仕副委員長

《会長要件》 西村会長



皆さん、こんにちは。今日の例会は、社会奉仕委員会担当例会で、特に環境保全について、社会奉仕委員会大橋委員長からの講話が予定されていますので、その前座として少しお話ししたいと思います。

既に紹介されていますが、「ロータリーの友」3月号の特集記事の表紙「世界中に安全な水を」の解説で、「持続可能な開発目標 (SDGs)」について触れています。「エスディージェーズ」と読むようで、Sustainable Developmental Goals の略だそうです。国際目標として 2016 年に発効されましたが、実は RI はその 20 年以上前の 1992 年に環境保全を重点目標に掲げているのです。

しかし、当然のことながら大事なことは目標を掲げるのではなくて、各クラブ単位で具体的に取り組むことです。我がクラブでは、長年 社会奉仕活動の一環として、八高 IAC と一緒に蕪島海岸の清掃と美化に取り組んでいますし、八戸三社大祭での奉仕活動も行っています。昨年度は「一人が一本の木を植えよう」を目標としました。

これを継続すると共に、もっと何かできることはないかと多くの会員が考えていると思いますし、私も同じ思いです。少し前の「ロータリーの友」で特集されていましたが、各クラブで新規にプロジェクトを立ち上げるのは簡単ではないが、既に他のグループが行っている事業に参加し、それをきっかけにしてクラブの事業に育てていくのは良いアプローチではないかと提案し、成功事例を紹介していました。私はとても関心を惹かれたものの、特にアイデアも浮かばずにいたところ、2週間前に橋本修さんの会員卓話で紹介された、「馬淵川ウオーク」の奉仕活動にとっても心を惹かれました。毎年 10 月頃に行われるようです。次年度のことになりますが、是非当クラブからも加わってみて、事業として育てて行かれたら良いのではないかと思います。

《出席報告》 原委員長



正会員数 36 名。本日の出席は免除会員 4 名を含む 26 名。出席率は 74% です。前々回の例会は、会員卓話例会で出席率 80% でした。

《幹事報告》 西尾会員



- ・4月10日の八戸 RC クラブ例会のお知らせが届いています。当日は RI2690 地区 2014-15 年度ガバナー松本祐二様のポリオ撲滅活動の卓話があります。
- ・東第 2 グループ IM のお知らせ、4月14日(日)十和田富士屋ホテルです。
- ・4月25日のお花見例会、4月28日(日)の蕪島清掃の出欠を回しています。
- ・ローターアクト年次大会の案内が届いています、5月11日(土)です。
- ・RILA の案内が届いています、5月18日(土)19日(日)です。
- ・例会変更のお知らせ、八戸 RC4 月 24 日(水)時間変更、八戸東 RC4 月 26 日(金)時間変更、八戸北 RC4 月 2 日(火)任意休会、4月26日(火)時間変更、4月30日(火)祝日につき休会です。
- ・4月のロータリーレートは1ドル110円です。
- ・英語版のザ・ロータリアン誌、米山梅吉記念館より館報が届いています。
- ・東第 1 グループ IM のお礼状が届いています。
- ・ロータリーの友より、電子版になりましたとの案内が届いています。ログインするにはパスワードが必要ですので興味のある方は事務局までお知らせください。

《ニコニコボックス》 大橋副委員長

西村会長：大橋委員長、宜しく願い致します。

西尾幹事：大橋委員長、よろしく願い致します。

米内会員：大橋委員長、楽しみです。よろしく願い致します。



《コミュニケーション委員会》熊谷委員長



ロータリーの友4月号縦組みの25Pに五戸クラブの「楽しい国際交流 新年家族会」という投稿が載っています。五戸クラブでは外国人の方々に語学を教える社会奉仕活動をしていますがおのほかにクラブ独自の国際文化交流組織「国際クラブ」もつくり本格的にやっているようです、学校で教えている ALT の方も参加して踊りやギター演奏なのでたのしくやっているようで、うちも真似したいと思いました。

《ロータリー財団委員会》石橋委員長

本日西村会長より財団へ恒久基金1,000ドルの寄付を頂きました、ありがとうございます。これで今年度の目標はクリアできたかと思いますが引き続きよろしくお願いたします。



《社会奉仕委員会》大橋委員長



今日は担当例会で環境保全についての卓話ということですが、私は学者先生ではないのであまり専門的なことは言えないと思いますので、最近読んだ本について紹介します。本の題名は「世界からバナナがなくなるまえに」で誰かに紹介されたような記憶はありますが思い出せません、ラジオだったかもしれません。本の帯に「わたしたちはたった12種類の作物で生きている」とあります。さすがにそれは言い過ぎではないかと思いますが、言わんとしていることは簡単で「世界はわずか12種類の植物に食料を大きく依存している。しかもその多くは遺伝的に単一であり、病気などのリスクを考えると非常に危機的である。種と遺伝子の多様性の確保が重要である」ということを400ページにわたって長々と書いてあります。

本の前半は歴史上の様々な具体例で例えば、ラテンアメリカのバナナ農園が、美味しくて簡単に育てることが出来て収穫量も多い単一の品種しか作らなかったのが1つの病原菌で全滅したとか、19世紀のアイランドで発生したジャガイモ飢饉、微生物が北アメリカからヨーロッパに何らかの理由で持ち込まれ、その微生物を媒介として疫病が流行り、当時の主要作物であったジャガイモのほとんどが枯死しました。枯れて腐ってしまったために飢饉に陥ったアイランドでは人口の20パーセント、100万人以上が餓死したと言われています。また、ブラジルのチョコレートテロ、一部のリベラル派といいますが、小作人への富の分配を求めて大地主のカカオ農園に打撃を与えようと「てんぐ巣病」の菌を撒いてしまいました。それによってカカオの木がほぼ壊死してしまいブラジルの農業政策は立ちく行かなくなり、何十万という失業者を生む結果となってしまったのです。しかもその犯人は本来カカオ農園を支援するはずのカカオ栽培地帯経済復興審議会のたった5人のメンバーだったというのも衝撃でした。ちょっと懲らしめてやろうという思いで発生させてしまった病原菌が、コントロール不能になるというのは、今

の偏った品種に依存している世界のことを思うと怖くなります。アフリカでは主要作物であるキャッサバのコナカイガラムシ被害に天敵であるハチを持ち込んで退治するというプロジェクトは、なんとなく失敗しそうなハブとマングースのようなイメージですが、現状はうまくいっているようで、このまま行ってくれば稀有な成功例となりそうです、ということ前半に書いてあり、後半は種の多様性を守るために行った科学者の試みを紹介しています。選ばれたエリートのカイガラムシだけでなく多様な野生種を集める試みはソ連の学者ニコライ・ヴァヴィロフさんによって始まったと言われていますが時と場所が悪かった、時は第2次世界大戦、場所はレニングラード、世界史で有名なドイツによるレニングラード包囲戦、ソ連のヴァシリ・ザイツェフとドイツのエルヴィン・ケーニッヒの決闘がよく知られていますが、あれはソ連によるプロバガンダでしょう。それは置いてドイツに包囲されてしまったソ連の科学者たちは自らの命よりも種子を守ることを選び、最後は大量の種子、つまり穀物に囲まれながら餓死していくという悲劇によって多くの種子が絶滅を免れたということです。この科学者たちのことはもっと知りたいと思いいろいろと本を調べていますが中々出てきません。

日本でも最近種子法というものが廃止され多様性を保つことが難しくなっていますが、米・麦・大豆などの将来を思えば怖くなります。今日ではビル・ゲイツさんの主導で世界最大の種子バンクがノルウェーのある島にあるようですが、現代のノアの箱舟もビル・ゲイツさんの資金力でも結構苦労しているようです。現代農業の遺伝的均質という危険性と、遺伝子多様性の意義を分かりやすく書いてあり、おすすめの1冊です。

八戸の飢饉について話そうと思います。飢饉のTV番組でNHKとかで作るときは結構八戸が出ます、なぜかという大抵の飢饉は天候が悪くて起こりますが八戸では動物による飢饉が起こってそれが珍しいということなのでしょうと根城の博物館の人が言っていました。根城に「悪獣退散」の石碑がありますがこの悪獣とはイノシシのことで、亥年に言うのもなんですが、山から下りてきたイノシシが作物を食べてしまい、人間が食べるものがなくなる「イノシシケガジ」というのがあります。もう一つ新井田の対泉院にある「餓死満霊等供養塔」という餓死した人を供養する碑がありますが、この碑の裏に書かれていることが全国的に珍しいということで取り上げられます。「食べるものがなくなりイネの茎を粉にして食べた、そればかりか人○○○・・・」人の文字の後は削り取られていてなんて書いてあるのかは読めないのですが、そういうことなのでしょう。もちろん全国的にこういう事例はありますが、文字として残っているのは珍しいということで知られています。このように八戸の飢饉について取り上げられることがあります。私にはこのようなことはしたくありませんし、美味しいご飯が食べたいです。皆さんも家庭菜園でかぼちゃやナスなどを育てましょう、そうすれば多少のことがあっても生き延びられるチャンスが訪れるかもしれません。